

(様式1)

1 自己評価及び外部評価結果

作成日 令和 3 年 7 月 22 日

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3470700281		
法人名	医療法人社団仁寿会		
事業所名	グループホームもみじ		
所在地	広島県竹原市西野町榎ヶ坪184番地 (電話) 0846-29-2190		
自己評価作成日	令和3年6月23日	評価結果市町受理日	

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	<a href="https://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/34/index.php?action_kouhyou_detail_022_kani=true&amp;JigyosyoCd=3470700281-00&amp;ServiceCd=320&amp;Type=search">https://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/34/index.php?action_kouhyou_detail_022_kani=true&amp;JigyosyoCd=3470700281-00&amp;ServiceCd=320&amp;Type=search</a>
-------------	---

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	一般社団法人広島県シルバーサービス振興会
所在地	広島市南区皆実町一丁目6-29
訪問調査日	令和3年7月7日

【事業所が特に力を入れている点、アピールしたい点（事業所記入）】

周囲に緑が多く自然に恵まれた中で落ち着いて生活出来る環境にあります。併設の老健、訪問看護、居宅介護支援事業所および同一法人内の協力医療機関との連携により、入居前から入居後まで連続した支援ができる体制を整えています。ホーム内では季節を実感して頂ける行事などを実施しています。入居者の方が役割分担をして調理や洗濯・掃除などの家事を行うなど生活の中の生きがいを感じて頂けるよう支援しています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

法人理念を基に、自尊心や個人の尊厳を敬い一人ひとりに目を向けることを念頭に意識し取り組んでいる。事業所は3ユニットで構成され、毎年各ユニット毎に職員全員で目標を作成している。掲げた目標も尊厳を大事にする内容が反映されたものになっており、意識を高く持ち実践し支援している。運営推進会議にも市健康福祉課、地域包括支援センターをはじめ、各地区の民生委員など多くの関係者の参加があり意見交換がなされている。医師の往診や訪問看護の毎日の訪問、隣接する老人保健施設との連携など安心できる医療体制を構築しており、看取りの実践にも繋がっている。行事食を利用者と一緒に献立を考え作ることで利用者の活躍や楽しみの機会となっている。地域との交流も様々にあり、法人事業所合同で開催する「ゆさか祭り」に中学校の吹奏楽演奏や地域住民の協力参加を得て行い恒例の楽しみとして定着している。

自己評価	外部評価	項目( 1階 )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I 理念に基づく運営</b>					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践に近づけている。	理念を詰所内に掲示しており日々のケアの中で実践している。	法人理念の基、3ユニットそれぞれに毎年独自の目標を検討し掲げている。目標は各ユニットそれぞれに職員全員で検討している。利用者の尊厳や意思の尊重、コミュニケーションを大切にされた内容になっており日々のケアで実践に努めている。理念や目標は職員会議で適宜振り返りも行っている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	コロナ禍により現在は難しい状況	地域の行事は中止が続いているが、フラダンスグループの訪問や、「ゆさか祭り」という法人事業所のお祭りが毎年恒例であり、女性会の参加や地域の団体から模擬店を出したり、中学校吹奏楽の演奏など協力があり、利用者の楽しみになっている。とんどやロードレースの応援など地域行事に参加している。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	認知症アドバイザーとして相談に対応		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実績、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	2か月に1回開催し、意見交換交流を行っている。行事の写真を紹介している。	健康福祉課や地域包括支援センターをはじめ、各地区の民生委員、ユニット毎の家族代表、理事長など各関係者が参加し意見交換がなされ運営に反映している。日々の取り組みを写真で紹介し、日頃の利用者の表情や雰囲気は伝わりやすく行われている。	行事など活動報告はなされているが、事故報告など行われていない。事故の際の原因究明や改善策など報告することで、利用者の生活におけるリスクを共有し取り組みの理解が得られるよう、参加していない家族にも議事録を送付するなど、事業所の実践に地域や家族の理解や共有が深まることを期待します。
5	4	○市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	運営推進会議にて市職員との情報収集等を行っている。	運営推進会議で市担当者や地域包括支援センター職員と意見交換を行っており、講演会や勉強会、認知症の映画上映の案内があるなど相互の情報共有に努めている。半年に1度、市の介護相談員の訪問もあり、利用者とのコミュニケーションをはじめ意見を頂くなど協力関係の構築や連携が図っている。	

自己評価	外部評価	項目( 1階 )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	<b>○身体拘束をしないケアの実践</b> 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	可能な限り抑制は行わず、環境を整え、入居者の行動を見守っている。	身体拘束防止委員会は隣接の法人事業所と合同で開催し、事例の検討や研修の開催をしている。チェックシートの活用や転倒リスクの高い方にはなるべくシンプルに居室環境を整えたり、見守りがしやすい位置に居室の変更をお願いするなど予防に意識を持っている。	
7		<b>○虐待の防止の徹底</b> 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。	勉強会等で虐待について学び、職員一人ひとりの認識に注意を払い、業務会議で話し合いを行っている。		
8		<b>○権利擁護に関する制度の理解と活用</b> 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	研修の機会があれば参加し、活用できるようにしている。		
9		<b>○契約に関する説明と納得</b> 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	入居時に不安な点や疑問点等を説明し、理解を得た上で同意を貰っている。		
10	6	<b>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</b> 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	運営推進会議に入居者の家族に出席して頂いている。ケアプラン説明時は要望を聞き、ケアに取り組んでいる。	利用者からは日常の何気ない会話やテレビや広告などで食べたい物の意向や外食への希望があがり、適宜実現に向け取り組むことや一緒に食事作りを行う支援を行っている。家族から面会やケアプラン作成時に確認し思いを共有している。担当職員が窓口となり意見や要望を聞きやすくする工夫をしている。	

自己評価	外部評価	項目( 1階 )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	業務会議で意見を出し、主任会議で検討している。個別面談を行い、意見を聞いている。	普段の業務内をはじめ、毎月ユニット毎に業務会議や適宜個別面談を行った際に意向や思いを確認し、職員も意見が言い易い環境の意識を持ち取り組みがなされている。庭の整備や花を植えることで利用者が眺めたり過ごす場所としての思いを意見として提案し予算を得て改善した例がある。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	処遇改善加算の算定や研修機会の確保を図っている。		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。	研修等の参加機会を設けている。介護福祉士や介護支援専門員の資格取得に向けた助成制度がある。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。	法人内の各部署と情報交換を図っている。		
<b>II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。	入所時に本人や家族から情報を聞き取り、職員間で共有して取り組んでいる。		

自己評価	外部評価	項目( 1階 )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係  サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。	入居時に話を聞きそれに対する対応を説明。もみじ便りや電話等でご本人の状態を伝え、交流を図っている。		
17		○初期対応の見極めと支援  サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	医療的な治療が必要な場合は、医療機関や訪問看護と連携を図っている。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係  職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。	生活する中で関わりを持ち、信頼関係を築いている。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係  職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。	コロナ禍により面会は難しいが、オンライン面会や電話の案内をしている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援  本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。	コロナ禍により難しい。職員からの情報等で話題にしている。	手紙や年賀状のやり取りができる支援や、地元地域の職員も多く、利用者それぞれの出身地域の近況や世間話など地元の話題に日常的にふれることができ、馴染みを感じながらの生活が送れている。コロナ禍以前は家族の協力を得ながら自宅への外泊を行ったり、近所の友人の面会なども多かった。	

自己評価	外部評価	項目( 1階 )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援  利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	日々の家事やレクリエーションを通じ入居者同士の疎通を図っている。		
22		○関係を断ち切らない取組み  サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	担当のケアマネジャーと連携をとり、情報交換する体制をとっている。		
<b>Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	9	○思いや意向の把握  一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	入居者の要望等を聞き取りケアの検討をしている。	日常の普段の会話から聴きとれる思いや意向をケア記録に残して共有し、職員会議などで話し合っって個々に寄り添える様に検討し支援している。自身の想いの把握が難しい方へも職員が様子をしっかりと観ていくことや家族に確認するなど、思いをできる限り汲み取れるように努め、利用者本位に検討している。	
24		○これまでの暮らしの把握  一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	本人や家族から話を聞く。入居前は相談員から情報を得ている。		
25		○暮らしの現状の把握  一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	ケア記録にその日の状況を把握しやすいように記載している。		

自己評価	外部評価	項目( 1階 )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<b>○チームでつくる介護計画とモニタリング</b> 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。	ケアプランは実践評価に基づき、フロア職員全員で意見を出し合い検討している。家族や本人の思いも組み入れる。	担当者自身がどういうケアを行っていきたいかという思いを中心に職員会議にて全員で検討している。若年性のアルツハイマー型認知症で笑顔が見られない方に、夫は笑顔を望まれ、本人の好きなことを中心にマンツーマンでの関わりを計画し実践したことで笑顔が見られた事例がある。	
27		<b>○個別の記録と実践への反映</b> 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。	ケア記録は1日単位で記録し、把握しやすいようになっている。特記事項は見落としのないように赤枠で囲み工夫している。		
28		<b>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</b> 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。	法人内の他部署と連携をとり適切な支援を速やかに行っている。		
29		<b>○地域資源との協働</b> 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。	コロナ禍により地域との関わりが難しい状況。竹原ケーブルテレビを視聴し、地元の情報を得ている。		
30	11	<b>○かかりつけ医の受診支援</b> 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。	定期的に主治医の往診を受けている。他の医療機関を受診する場合は紹介状を持ち家族と同伴で受診している。	入居前のかかりつけ医も選択でき、その際には家族の協力を得て受診している。現在は利用者のほとんどが協力医に主治医を変更している。毎月の往診や歯科医の往診、訪問看護の毎日の訪問があることで医療が受けられる体制となっている。眼科など専門科へも必要に応じ適宜受診に繋げている。	

自己評価	外部評価	項目( 1階 )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<b>○看護職員との協働</b> 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。	訪問看護から毎日看護師が来て、日々の状態を把握している。緊急時の連携体制も整っており、速やかに指示を受けられる。		
32		<b>○入退院時の医療機関との協働</b> 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	主治医と入院医療機関が連携をとり、入院中は相談員が入院先と連絡をとり状況を把握している。		
33	12	<b>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</b> 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。	家族の意向を確認し、看取りを希望された場合は必要な部署と連携を取っている。	利用開始時に延命など終末期支援について意向を伺い、状態が変化し終末期となった時点で重度化した場合の対応に関する指針を説明し関係者で集まり話をしている。家族や医師を中心に訪問看護のサポートにてチームとして連携し最後の大切な時間を支援している。	
34		<b>○急変や事故発生時の備え</b> 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。	医療的な処置が必要な時は訪問看護と連携をとり、指示を受けている。感染症対策マニュアルもあり速やかに対応できるようにしている。		
35	13	<b>○災害対策</b> 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。	年2回の避難通報消火訓練を実施、全職員の緊急連絡網を準備し、体制を整えている。	年2回、グループホーム単独で消防署の協力を得て避難訓練を実施している。火事など有事には隣接する老人保健施設などからの応援体制もあり緊急に対応できる体制が整っている。H30年の豪雨災害では水の出ない地域の認知症高齢者の積極的な避難の受け入れを行った。	

自己評価	外部評価	項目( 1階 )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保  一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	自尊心を傷つけないよう声掛けをしている。得意分野を発揮できるよう環境を整えている。	ユニット目標にも個人の尊厳を掲げており、意識を高く持ち一人ひとりのケアに努めている。接遇も職員会議で言葉掛けなど注意する点を確認している。適宜振り返りを行い、職員も日頃から話し合ったりと意識している。申し送り時は個人名でなく居室名に置き換えて伝える配慮をしている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援  日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	日頃の便同を観察し、思い等を汲み取りながら自己決定できるように促している。		
38		○日々のその人らしい暮らし  職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	入居者の状況により対応している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援  その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	好のみの物を持参してもらっている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援  食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	入居者の状態に合わせてトレイ拭き、テーブル拭き等と一緒にしている。行事での食事作りでは献立から一緒に考え、食事作りに参加してもらう。	併設の老人保健施設の厨房から提供する体制である。ご飯は各ユニットで炊き、時に一品料理を作ることもある。その際には畑で収穫した野菜が使用され食卓に上がっている。行事食は利用者の意向を伺い献立から一緒に考え食事作りに参加し特別な機会として利用者の方の大きな楽しみとなっている。	

自己評価	外部評価	項目( 1階 )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		<b>○栄養摂取や水分確保の支援</b>  食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。	一日の水分量が把握できるように表に記入している。安定した水分量を提供できるように飲み物の種類を揃えている。		
42		<b>○口腔内の清潔保持</b>  口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。	参食後口腔ケアを行っている。必要であれば職員が仕上げを行っている。必要に応じ、歯科往診にて口腔内のチェックを行っている。		
43	16	<b>○排泄の自立支援</b>  排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。	個々の排泄パターンを観察し、声掛け誘導を行っている。可能な限りトイレでの排泄が出来るように支援している。	ケア記録を下に排泄パターンを個々に把握し個人の間隔に合わせて介助しており、可能な限りトイレで座って排泄が行える支援を行っている。夜間はポータブルトイレを使用し今年はおムツの業者から当て方や陰部洗浄などをリモートで勉強会を開催した。	
44		<b>○便秘の予防と対応</b>  便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる。	個々の排便パターンを観察し、緩下剤の調整を行っている。水分量の確保、運動により自然排便に取り組んでいる。		
45	17	<b>○入浴を楽しむことができる支援</b>  一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている。	週2回の入浴、ひとりで時間を気にせずゆっくりと入浴している。職員との会話の場にもなっている。	週2回を基本に入浴の機会を持ち、入浴時は職員と1対1で行い、昔の話に花を咲かせたり、歌を歌ったりと個人のペースを尊重しゆっくりとくつろげる入浴となっている。羞恥心への配慮や入浴日以外の日では週3回足浴も実施している。	

自己 評価	外部 評価	項 目( 1階 )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		<b>○安眠や休息の支援</b>  一人ひとりの生活習慣やその時々 の状況に応じて、休息したり、安 心して気持ちよく眠れるよう支 援している。	自宅で過ごす時と同じように環 境を整え、安心して過ごせるよ うにしている。		
47		<b>○服薬支援</b>  一人ひとりを使用している薬の 目的や副作用、用法や用量につ いて理解しており、服薬の支援 と症状の変化の確認に努めてい る。	個々の服薬管理は職員が行って いる。薬効等の資料は詰所にて 管理し、いつでも確認できるよ うにしている。		
48		<b>○役割、楽しみごとの支援</b>  張り合いや喜びのある日々を過 ごせるように、一人ひとりの生 活歴や力を活かした役割、嗜好 品、楽しみごと、気分転換等の 支援をしている。	事前の聞き取りにて得意なこと と興味のあることをみつけ支 援している。		
49	18	<b>○日常的な外出支援</b>  一人ひとりのその日の希望にそ って、戸外に出かけられるよう 支援に努めている。また、普段 は行けないような場所でも、本 人の希望を把握し、家族や地 域の人々と協力しながら出か けられるように支援している。	コロナ禍により外出は難しい が敷地内・施設周辺の散歩を行 い気分転換を図っている。	コロナ禍により外出は難しい が、以前ではユニット毎に外出 行事を実施し、三景園やバンブ ー公園への花見、海を見に海岸 沿いをドライブしたりと様々に 行っていた。普段では現在も敷 地内や施設周辺の散歩を継続 しており、利用者の気分転換に なっている。	
50		<b>○お金の所持や使うことの支援</b>  職員は、本人がお金を持つこと の大切さを理解しており、一人 ひとりの希望や力に応じて、お 金を所持したり使えるように支 援している。	現在は、現金の預かりはない。		

自己評価	外部評価	項目( 1階 )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。</p>	<p>家族からの電話を取り次ぐ。携帯電話を持参している方は、自室にて自由にやり取りを行っている。手紙や荷物は直接本人に渡す。</p>		
52	19	<p>○居心地の良い共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>季節を感じるような作品を飾っている。居室に共同スペースは毎日清掃し、清潔を保っている。</p>	<p>リビングは広くゆとりのある空間となっている。そこに利用者と一緒で作った季節折々の作品が掲示されており、行事の写真なども飾られ、今の季節感を感じながら過ごす空間造りとなっている。ソファや和室もあり適宜くつろげるスペースも確保されている。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。</p>	<p>個々のペースで活動。リビングにて気の合った入居者同士で談笑している。</p>		
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>家具や使い慣れた物の持ち込みは自由で本人の過ごしやすいうようにしてもらっている。</p>	<p>利用開始前に事前に居室内を確認してもらい持参物を検討してもらうようにしている。利用者それぞれに思い出の物やなじみの家具、調度品の持参をお願いしており、気にいっている椅子を持参しゆっくり外を眺めたり、机と椅子にて手紙を書いたりと思い思いに過ごすことができる環境となっている。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。</p>	<p>バリアフリーの建物になっている。安全に行動できる環境にしている。</p>		

V アウトカム項目( 1階 ) ← 左記( )内へユニット名を記入願います			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	○	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんど掴んでいない
57	利用者職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○	①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ毎日のように <input type="radio"/> ②数日に1回程度 <input type="radio"/> ③たまに <input type="radio"/> ④ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	<input type="radio"/> ①大いに増えている <input type="radio"/> ②少しずつ増えている <input type="radio"/> ③あまり増えていない <input type="radio"/> ④全くいない
66	職員は、生き活きと働けている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての職員が <input type="radio"/> ②職員の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③職員の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ②利用者の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③利用者の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての家族等が <input type="radio"/> ②家族等の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③家族等の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどできていない

自己評価	外部評価	項目( 2階 )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践  地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	事業所独自の理念を詰所に掲示して職員全員が意識して携わっている、会議でも再確認している。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい  利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	行事を行う際地域のボランティアに参加をお願いしたり、地元の小中学生に音楽等の発表が出来る場を提供している。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献  事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	運営推進会議(2月に1回)では事業所の取り組みを説明し、時には施設内の視察をして頂き、認知症に対する理解を深めて頂けるように取り組んでいる。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み  運営推進会議では、利用者やサービスの実績、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	民生委員、市役所職員、地域包括支援センター職員、家族代表、利用者代表を交え2か月に1度活動報告や意見交換を行っている。		
5	4	○市町との連携  市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	運営推進会議には市の担当課職員の参加を頂き、半年に1回の割合で市の介護相談員が訪問されている。		

自己評価	外部評価	項目( 2階 )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	<b>○身体拘束をしないケアの実践</b> 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	抑制をしないように日々のケアの中で声掛けや介助方法を工夫している。また月1回の業務会議でも事例をもとに研修を実施している。		
7		<b>○虐待の防止の徹底</b> 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。	職員個々に虐待に対する知識を深め、又業務会議でも事例をもとに研修を実施している。		
8		<b>○権利擁護に関する制度の理解と活用</b> 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	成年後見人制度を利用されている方が入居されていることもあり業務会議で研修を行った。		
9		<b>○契約に関する説明と納得</b> 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	入居時に十分な説明を行い、同意を得ている。		
10	6	<b>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</b> 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	運営推進会議に入居者の家族代表が参加され、意見や要望等を収集する機会がある。ケアプラン変更時には利用者や家族の要望を聞く機会を作っている。		

自己評価	外部評価	項目( 2階 )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	月1回の業務会議を開き、意見交換しケアの見直し等の検討をしている。ホーム全体では不定期で会議を開催し、意見集約とケアの統一につなげている。		
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	処遇改善加算の算定や研修機会の確保によりキャリアアップ出来るよう支援している。		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。	介護福祉士や介護支援専門員の資格取得に向けた助成を行っている。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。	法人内、グループ法人との情報交換を行っている。		
<b>II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。	入居時に利用者及び家族から情報収集し、カルテやケア記録を活用して情報を共有している。入居者が安心して過ごせる環境と関係作りに努めている。		

自己評価	外部評価	項目( 2階 )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係  サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。	入居時にサマリーにて情報収集する際、家族からの要望を聞き、事業所のサービス内容を説明している。又、面会電話にて近況報告を行い、家族からの質問にも細かく回答し、関係作りに努めている。		
17		○初期対応の見極めと支援  サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	利用者の言動を把握した上で、医療的な面では主治医の指示を仰ぎ、訪問看護との連携により対応している。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係  職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。	日々関わりを持つ時間を設け、共に生活しているものとして関係を深めている。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係  職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。	面会時には本人様と家族がゆっくり過ごせるように配慮している。また電話で近況を報告するとともに本人様と通話出来るよう配慮している。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援  本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。	家族には外出外泊を積極的に行うよう働きかけている。ホームでも外出する機会を設けている。コロナ禍で外出外泊ができないため、手紙電話などが出来るよう努めている。		

自己評価	外部評価	項目( 2階 )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援  利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	レクリエーションや調理など家事を共同で作業することにより、利用者同士が関わりを持てるよう努めている。		
22		○関係を断ち切らない取組み  サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	同一敷地内の老健へ入所された場合には機会があれば面会に出向くこともある。		
<b>Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	9	○思いや意向の把握  一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	日常生活の中で本人様の意向を把握するよう努めている。		
24		○これまでの暮らしの把握  一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	家族からの聞き取りや本人様の言動から把握している。		
25		○暮らしの現状の把握  一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	ケア記録にて1日の状態を把握している。特変時には詳しく記載するようにしている。		

自己評価	外部評価	項目( 2階 )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<b>○チームでつくる介護計画とモニタリング</b> 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。	ケアプラン作成時において事前にユニット全スタッフからかだいを収集し、ケアカンファレンスにて検討し、作成している。ケアプランは家族に説明し承諾を得ている。		
27		<b>○個別の記録と実践への反映</b> 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。	日々のケア記録には、入居者の行動等1日単位で記録し、ケアプランの見直しを行っている。特記事項は赤字で囲み見落とさないようにしている。		
28		<b>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</b> 本人や家族の状況、その時々にも生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。	状況により法人内の他職種に助言を貰う。医療面では主治医、訪問看護との連携により適切な処置を行っている。		
29		<b>○地域資源との協働</b> 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。	毎年のゆさか祭りでは多数の地域ボランティアにご協力頂いている。入居者の皆様にも外部の方々との交流を楽しんで頂いている。		
30	11	<b>○かかりつけ医の受診支援</b> 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。	月2回の往診を受け、緊急時には、協力医療機関や主治医と連携をとり、必要な医療を受けられるよう支援している。		

自己評価	外部評価	項目( 2階 )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<b>○看護職員との協働</b> 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。	訪問看護から1日1回定期訪問があり、状況観察を行っている。看護師が必要と判断した場合には、主治医と連絡をとり必要な医療を提供している。訪問看護とは24時間体制で連携がとれるようになっている。		
32		<b>○入退院時の医療機関との協働</b> 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院中に事業所の介護支援専門員が入院先の医療機関の相談員と連携をとり状態の把握に努めている。		
33	12	<b>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</b> 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。	本人様の状態が悪化してきた場合、ご家族の意向を確認し、当ホームでの看取りを希望される場合には、「重度化した場合の対応に関する指針」を説明し、理解を得ている。		
34		<b>○急変や事故発生時の備え</b> 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。	医療的な判断が必要な場合は、訪問看護と24時間連絡体制をとっている。緊急時には老健の看護師の協力を得て対応する場合もある。一般家庭で可能な医療行為は看護師の指導のもと行っている。感染症の流行前には研修を行っている。		
35	13	<b>○災害対策</b> 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。	年に2回避難通報消火訓練を行っている。		

自己評価	外部評価	項目( 2階 )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保  一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	トイレ誘導や失禁など自尊心を傷つけないように声掛けをしている。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援  日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	日々の関わりの中でご本人を焦らすことのないよう状況を把握したうえで自己決定出来るように促している。		
38		○日々のその人らしい暮らし  職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	ご本人の状況に合わせて過ごして頂くよう支援している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援  その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	2か月に1度散髪している。希望があればご家族と美容室へ行くこともできる。行事の時などお化粧品をしている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援  食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	入居者の食事嗜好を聞き取り献立に反映するようにしている。食事会では準備片付けにも参加して頂いている。		

自己評価	外部評価	項目( 2階 )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス，水分量が一日を通じて確保できるよう，一人ひとりの状態や力，習慣に応じた支援をしている。</p>	<p>水分摂取表にて摂取量を把握している。個人の嗜好に合わせて飲み物を提供変更している。嚥下状態の悪い方には状況に応じ食事形態を変更している。</p>		
42		<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように，毎食後，一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。</p>	<p>参食後口腔ケアを実施している。ご家族の意向を聞いたうえで往診や口腔ケアを行っている。義歯のある方は1日1回洗浄を行っている。</p>		
43	16	<p>○排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし，一人ひとりの力や排泄のパターン，習慣を活かして，トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。</p>	<p>ケア記録により排泄パターンを把握し，定時の声掛けを行っている。</p>		
44		<p>○便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し，飲食物の工夫や運動への働きかけ等，個々に応じた予防に取り組んでいる。</p>	<p>個々の排便状況を把握し，緩下剤の調整を行っている。水分・食事・運動も同時に調整している。</p>		
45	17	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように，職員の都合で曜日や時間帯を決めず，個々に応じた入浴の支援をしている。</p>	<p>週2回の入浴は，会話や歌などゆっくりと楽しんで頂いている。体調不良やターミナルの方は清拭にて対応している。入浴のない日は代わりに足浴を実施している。</p>		

自己評価	外部評価	項目( 2階 )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		<b>○安眠や休息の支援</b> 一人ひとりの生活習慣やその時々 の状況に応じて、休息したり、安 心して気持ちよく眠れるよう支 援している。	日々の状況に応じご本人と相談 の上、時には自室にて休息して 頂くこともある。不眠傾向の方 には寝る前に足浴などを行う場 合もある。		
47		<b>○服薬支援</b> 一人ひとりが使用している薬の 目的や副作用、用法や用量につ いて理解しており、服薬の支援 と症状の変化の確認に努めてい る。	個々に服用している薬剤は薬局 からの説明書と看護師からの説 明により把握している。薬剤の 変更がある際には、看護師から の説明を受け状況の把握に努 めている。		
48		<b>○役割、楽しみごとの支援</b> 張り合いや喜びのある日々を過 ごせるように、一人ひとりの生 活歴や力を活かした役割、嗜好 品、楽しみごと、気分転換等の 支援をしている。	個々の状態に応じた役割、楽 しみごと気分転換を支援してい る。時にはご家族にお願いして 嗜好品を持参してもらうことも ある。		
49	18	<b>○日常的な外出支援</b> 一人ひとりのその日の希望にそ って、戸外に出かけられるよう 支援に努めている。また、普段 は行けないような場所でも、本 人の希望を把握し、家族や地 域の人々と協力しながら出か けられるように支援している。	天気の良い日には施設周辺の 散歩に出かけている。時には 市内などへドライブに出かける 事もある。		
50		<b>○お金の所持や使うことの支援</b> 職員は、本人がお金を持つこと の大切さを理解しており、一人 ひとりの希望や力に応じて、お 金を所持したり使えるように支 援している。	預かり金がないため行っていない。		

自己評価	外部評価	項目( 2階 )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援  家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。	ご家族やご友人などとやり取りが出来るよう家族の協力のもとに手紙を出せるよう支援している。携帯電話を持ち込まれてご家族やご友人に電話されている方もある。		
52	19	○居心地の良い共用空間づくり  共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。	季節ごとに入居者と一緒に壁画作品を作成している作業中には季節に因んだ話題などで会話を楽しむ。季節の花や置物を飾っている季節に応じて室内温度湿度調整を行っている。		
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり  共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。	個々の表情行動より状況を把握している。気の合った入居者同士で持ち込みのお菓子を食べながら話をされることもある。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮  居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。	使い慣れた家具を持ち込まれたり、家族の写真や好みの置物など飾られている。自室にテレビを設置されている方もおられる。		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり  建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。	バリアフリーで段差のない建物である。入居者の出来ることは可能な限り、見守りにて行ってもらう。安全な生活が送られるよう配慮している。		

V アウトカム項目( 2階 ) ← 左記( )内へユニット名を記入願います			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	○	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんど掴んでいない
57	利用者職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○	①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ毎日のように <input type="radio"/> ②数日に1回程度 <input type="radio"/> ③たまに <input type="radio"/> ④ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	<input type="radio"/> ①大いに増えている <input type="radio"/> ②少しずつ増えている <input type="radio"/> ③あまり増えていない <input type="radio"/> ④全くいない
66	職員は、生き活きと働けている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての職員が <input type="radio"/> ②職員の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③職員の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ②利用者の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③利用者の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての家族等が <input type="radio"/> ②家族等の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③家族等の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどできていない

自己評価	外部評価	項目( 3階 )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I 理念に基づく運営</b>					
1	1	○理念の共有と実践  地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	ホームの理念を詰所内に掲示し、日々のケアの中で実践している。また各フロアの目標を立てており、法人の理念と合せて日々のケアにつなげている。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい  利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	行事において地域の方との交流を図っていたが、コロナ禍において現在は難しい状況。散髪は地域の美容院に依頼し、来所してもらっている。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献  事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	認知症アドバイザーとして相談に対応している。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み  運営推進会議では、利用者やサービスの実績、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	運営推進委員として2か月に1回会議に参加して頂き、意見交換交流を行っている。資料として写真を紹介し、行事のアドバイス等を頂いている。		
5	4	○市町との連携  市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取組んでいる。	運営推進会議にて市内の情報を頂いている。市開催の講演会等の案内を頂くなどもしている。また、市の介護相談員の訪問を受け入れ気づきや意見を頂いている。		

自己評価	外部評価	項目( 3階 )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	<b>○身体拘束をしないケアの実践</b> 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	可能な限り抑制は行わない。環境を整え抑制なく見守りで対応している。		
7		<b>○虐待の防止の徹底</b> 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。	認知症の理解を深めるため、勉強会等で学び業務会議で意見交換を行っている。困ったことは一人で抱えこむことのないよう相談出来る環境を作っている。		
8		<b>○権利擁護に関する制度の理解と活用</b> 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	勉強会等に参加し、活用できるよう業務会議で意見交換している。		
9		<b>○契約に関する説明と納得</b> 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	入居時に説明して、不明や不安な点はその場で丁寧に説明し、ご理解頂いた上で印鑑を頂いている。		
10	6	<b>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</b> 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	運営推進会議に家族代表の方に参加して頂いている。また、ケアプラン説明時に要望を聞きケアに取り組んでいる。		

自己評価	外部評価	項目( 3階 )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>業務会議で意見交換したり個別の面談を行うなどして意見を聞いている。</p>		
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>処遇改善加算の算定や研修機会の確保を図っている。</p>		
13		<p>○職員を育てる取組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。</p>	<p>外部研修等の参加時には要望に合わせて勤務の調整を行っている。また、介護福祉士や介護支援専門員の資格取得に向けた費用の助成制度がある。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。</p>	<p>法人内の各部署と連携を図り情報交換している。現在はコロナ禍において行われていないが以前はグループホーム相互研修への派遣と受け入れを行っていた。</p>		
<b>II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。</p>	<p>入居時に本人や家族から話を聞き得られた情報を職員間で共有し、ケアのヒントにしている。</p>		

自己評価	外部評価	項目( 3階 )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。</p>	<p>入居時に話を聞きそれらに対応する説明を行っている。お便りや電話当で交流を図り不安の軽減に努めている。</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。</p>	<p>医療等のサービスが必要な場合には、医療機関や訪問看護と連携を図っている。</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。</p>	<p>利用者との関わりの中で信頼関係を築いている。担当者を中心に関係を深めている。</p>		
19		<p>○本人を共に支えあう家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。</p>	<p>コロナ禍において現在は直接面会はないが、オンライン面会や電話の案内をしており、本人と家族の関係が途絶えることのないようにしている。</p>		
20	8	<p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。</p>	<p>コロナ禍であり難しい面もあり手紙のやりとりの支援を行っている。ワクチン完了後はドライブ等の計画を行いたい。</p>		

自己評価	外部評価	項目( 3階 )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援  利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	家事やレクリエーションを通じ入居者同士の交流を図っている。作業や作品作りでは数名での作業を行うことが多い。		
22		○関係を断ち切らない取組み  サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	担当のケアマネジャーと連携をとり、情報交換できる体制をとっている。		
<b>Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	9	○思いや意向の把握  一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	利用者と日々しっかり向き合い交流を図っている。利用者の思いや要望を聞き取り担当者を中心にケアの検討をしている。		
24		○これまでの暮らしの把握  一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	本人や家族から話を聞き情報を得ている。利用開始前の情報は相談員からも情報を得ている。		
25		○暮らしの現状の把握  一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	ケア記録が次のケアに繋がるよう分かり易く記載するよう努めている。それにより職員間の情報共有につながっている。		

自己評価	外部評価	項目( 3階 )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<b>○チームでつくる介護計画とモニタリング</b> 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。	ケアプランはフロア職員全員で意見を出し合い検討している。担当者を中心に本人や家族の思いを組入れた計画を考えて作成している。		
27		<b>○個別の記録と実践への反映</b> 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。	ケア記録は1日単位で記載し、1日の様子がわかり易くなっている。特記事項等特に情報の共有が必要な事項は赤枠で印し見落としの内容工夫している。		
28		<b>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</b> 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。	法人内の他部署と連携をとり、適切な支援を速やかに行っている。		
29		<b>○地域資源との協働</b> 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。	コロナ禍において地域との関わり、交流が難しい状況にある。竹原ケーブルテレビを視聴し、竹原の情報から遠ざかることのないよう努めている。		
30	11	<b>○かかりつけ医の受診支援</b> 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。	主治医の往診を定期的に受けている。他の医療機関の受診を希望される場合は主治医の紹介状を渡し受診できるようにしている。		

自己評価	外部評価	項目( 3階 )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<b>○看護職員との協働</b> 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。	訪問看護から毎日看護師が来所し情報を共有している。緊急時の連絡体制やマニュアルも整っており、速やかに指示を受けられる。		
32		<b>○入退院時の医療機関との協働</b> 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	主治医と入院医療機関が連携をとり入院の援助を行っている。入院中はケアマネジャーが病院と連絡をとり状況の把握に努めている。		
33	12	<b>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</b> 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。	家族の意向を確認し希望があれば看取り介護を行っている。主治医・相談員・看護・介護でチームとして連携して支援している。		
34		<b>○急変や事故発生時の備え</b> 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。	医療が必要な場合は訪問看護と連携をとり指示を受けている。また、感染症の対応マニュアルもあり速やかに対応できるよう準備している。		
35	13	<b>○災害対策</b> 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。	年2回避難通報消火訓練を行っている。緊急時はホームから自宅が近い職員が駆け付けられるよう連絡体制をとっている。		

自己評価	外部評価	項目( 3階 )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保  一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	自尊心を傷つけないよう声掛けを工夫している。羅問えばトイレの声掛けの際他者にそれとわかるような声掛けをしないようにしている。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援  日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	入居者の日頃の言動を観察し、本人の思いを汲み取りながら支援している。可能な限り自己決定出来るように働きかけている。		
38		○日々のその人らしい暮らし  職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	希望を聴くなどし、入居者のペースに合わせた支援を行っている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援  その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	使い慣れた化粧品や生活用品を家族に持参してもらっている。衣類も個人の好みを家族に伝える等して準備して貰っている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援  食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	行事での食事作りやおやつ作りにおいて献立を入居者と一緒に考える等し永年主婦として家庭の台所を担ってきた経験を活用する工夫をしている。		

自己評価	外部評価	項目( 3階 )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。</p>	<p>1日の水分量を表にして集計し、水分量の把握をしている。個人の好みを取り入れた水分の提供にも配慮している。</p>		
42		<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。</p>	<p>毎食後口腔ケアを行っている。義歯ブラシ歯ブラシを使用し必要であれば職員が仕上げを行う。義歯の消毒は毎日行っている。</p>		
43	16	<p>○排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。</p>	<p>個々の排泄パターンを観察し、誘導が必要であれば誘導している。職員2名対応するなど可能な限りトイレでの排泄を支援している。</p>		
44		<p>○便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる。</p>	<p>個々の排便パターンを観察し、水分補給や軽い運動の支援をしている。必要であれば緩下剤の調整も行っている。</p>		
45	17	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている。</p>	<p>週2回ひとりずつゆっくり入浴してもらっている。入居者と職員1対1で対話出来る場と考え親睦の場としている。</p>		

自己評価	外部評価	項目( 3階 )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		<p>○安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々 の状況に応じて、休息したり、安 心して気持ちよく眠れるよう支 援している。</p>	<p>自宅で過ごす環境と近い生活が 出来るよう支援している。休息 や静養も個々のペースで行える よう支援している。</p>		
47		<p>○服薬支援</p> <p>一人ひとりを使用している薬の 目的や副作用、用法や用量につ いて理解しており、服薬の支援 と症状の変化の確認に努めてい る。</p>	<p>個々の服薬管理は職員が行って いる。薬効等に係る資料は詰所 にあり、いつでも確認できる。</p>		
48		<p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過 ごせるように、一人ひとりの生 活歴や力を活かした役割、嗜好 品、楽しみごと、気分転換等の 支援をしている。</p>	<p>入居者や家族に聞き取りし、得 意な事力が発揮できることを見 つけ支援している。</p>		
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそ って、戸外に出かけられるよう 支援に努めている。また、普段 は行けないような場所でも、本 人の希望を把握し、家族や地 域の人々と協力しながら出か けられるように支援している。</p>	<p>コロナ禍において外出が難しい 状況にあるが、外気浴や施設周 辺の散歩など行い気分転換を 図っている。</p>		
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つこと の大切さを理解しており、一人 ひとりの希望や力に応じて、お 金を所持したり使えるように支 援している。</p>	<p>現在は現金の預かりは行って いない。</p>		

自己評価	外部評価	項目( 3階 )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。</p>	<p>手紙を書く支援をしている。届いた手紙は速やかに渡している。携帯電話を持っておられる方は、自由に通信している。</p>		
52	19	<p>○居心地の良い共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>季節に配慮した飾りつけや室内環境を工夫している。換気を細目に行い、季節の空気を感じ移り変わりを味わえるように工夫している。</p>		
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。</p>	<p>個々のペースで活動できる時間もあれば数名での談笑やレクリエーションの時間も思い思いに生活出来る。</p>		
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>家具や飾り物等慣れ親しんだものの好みの物を自由に居室に置いてもらっている。</p>		
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。</p>	<p>バリアフリーの建物である。安全に自由に生活して頂けるよう環境整備している。</p>		

V アウトカム項目( 3階 ) ← 左記( )内へユニット名を記入願います			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	○	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんど掴んでいない
57	利用者職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○	①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ毎日のように <input type="radio"/> ②数日に1回程度 <input type="radio"/> ③たまに <input type="radio"/> ④ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	<input type="radio"/> ①大いに増えている <input type="radio"/> ②少しずつ増えている <input type="radio"/> ③あまり増えていない <input type="radio"/> ④全くいない
66	職員は、生き活きと働けている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての職員が <input type="radio"/> ②職員の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③職員の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ②利用者の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③利用者の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての家族等が <input type="radio"/> ②家族等の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③家族等の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどできていない

(様式2)

## 2 目標達成計画

事業所名 グループホームもみじ

作成日 令和3年8月25日

### 【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点, 課題	目標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
1	1	各フロアでの目標は立てているが、ホーム全体の目標は立てていない。	各フロア目標とは別にホーム全体の目標を立て、スタッフ全員で取り組む。	業務会議主任会議で意見を出して決定する。	1か月
2	3	運営推進会議に代表のご家族しか参加されていない。	代表だけでなく他の家族にも参加して頂き、ホームの活動に理解を深めてもらう。	お便りにて運営推進会議の日時をお知らせして参加を促す。(もしくは、意見や要望を募集)	1年
3	4	運営推進会議内で事故報告の話題にふれていない。	会議内で事故の例や予防策を知ってもらう。	会議内でいくつかの例を挙げる。	2か月
4	5	研修の機会が少ない。	スタッフ全員が1年に3回は何らかの研修に参加する。	オンライン研修や会議内での勉強会に取り組む。	1年
5					
6					
7					

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。